



2学期が始まりました！

41日間の夏休みを終え、2学期がスタートしました。始業式での子供たちの顔から2学期への期待がうかがえました。今年の夏休みは前半は暑い日が続き、体調を崩した子供たちもいたのではないのでしょうか。しかし、2学期のスタートを全校の子供たちの笑顔でスタートできたことに感謝しています。長い休みでしたが、子供たちの安全と体調管理に御協力いただきありがとうございました。2学期も子供たちにとって安心して安全に生活できる学校をめざし、全職員が一丸となって取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

さて、私自身も初めての経験ですが、今年は運動会の練習がない2学期のスタートとなります。例年夏休み中に職員同士で、競争競技の内容や表現の内容等の打ち合わせを行い、2学期のスタートとほぼ同時に、運動会の練習に取り組んできました。子供たちも休み明けの、アイドリングもままならない中での練習となっていました。しかし、今年度より運動会が春開催になった関係で、例年より落ち着いた雰囲気です。2学期をスタートすることができました。秋空の下での運動会の活気がないのは少し寂しくもありますが、行事が目白押しの2学期は子供たちにとって大きく成長の時期になります。一人一人にとって有意義な学期となるようにしたいです。

備えあれば憂いなし 日頃の準備を！

先週は「台風」に翻弄された1週間でした。日本各地で被害が相次ぎ、公共交通機関も軒並み運休や遅延が発生しました。改めて自然の恐ろしさを感じるとともに、何もできない人間の弱さを感じました。最近自然災害が増えたように感じます。8月8日には宮崎県日向灘においてM7.1の大きな地震がありました。死者こそ出なかったようですが、家屋の被害やけがをされた方もいました。そして、今回は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発令され、関係地域においては長い時間巨大地震発生に備えていました。1923年の関東大震災から今年で101年を迎えています。その後も1995年の阪神・淡路大震災、そして、2011年の東日本大震災。そして、毎年繰り返される台風による被害。その都度私たちは自然の怖さを思い知らされ、防災について考えさせられました。学校では各災害に対して避難訓練等を行っています。しかし、実際に災害等で避難した後や、学校外での避難に対してはシミュレーションできていません。13年前、東日本大震災の後に各家庭において「避難場所の確認」「お互いの安否確認の方法」「各家庭の災害持ち出し品の確認」等をしたことを、昨日のことに覚えています。保護者の皆さんはその時何歳だったのでしょうか？何をしている時に震災に合われたのでしょうか？あの時の教訓が今に活かされていることは多くあります。しかし、人間は都合のいい生き物です。あの時の苦しさ、怖さを忘れてしまっている時があります。学校でできることには限界があります。日頃の各御家庭での取り組みが大切になります。

災害はいつ起こるかわかりません。いざという時のために家族全員で確認と実践が必要です。学校でできることは取り組んでいきます。子供たちを守るだけでなく、御家族全員を守る意味でも、災害時の確認をお願いします。